



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年7月6日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

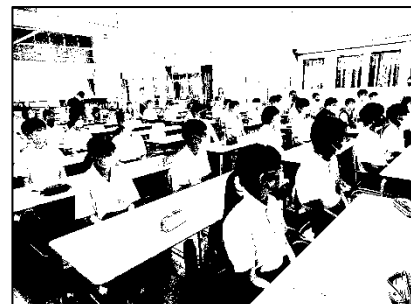
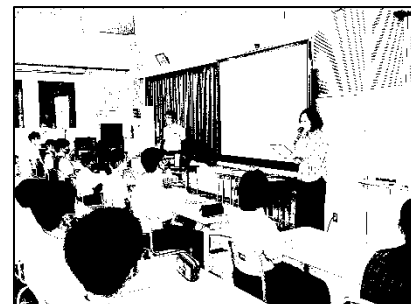
＜学校教育目標＞

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

○やろうとするのか、やろうとしないのか ○未来は変わる ○激変する未来で求められるスキルとは？ ○コップの水を見て、「まだ半分もある」「半分しかない」 ○結果を変えるためには・・・考え方⇒行動⇒結果 考え方を考えることは、成功への第一歩 ○今、起こっているできごとに、意味を与えるのはあなたです！ ○間違いは宝物！ ○君の外には、無限の世界が広がっている ○自分で限界を決めない その限界は幻だ！ ○困難とは、今難しいだけ ○御陰様、有難う ○続けることで未来は変わる ○自分が見ている世界がすべてではない



★龍 達也校長先生プロフィール

○ 学校法人鎮西敬愛学園 敬愛中学・高等学校 理事長室長 敬愛小学校 校長
○ 1973年福岡県生まれ。福岡教育大学卒業後、北九州市の学校法人 鎮西敬愛学園 敬愛中学校高等学校にて広報担当、ならびに社会科の教諭として勤務しました。2015年4月より、同学園 理事長室長・敬愛小学校 副校長に就任。2022年より敬愛小学校 校長に就任。11年前より同学園 CSR 活動の教育講演会講師として多くの公立小中学校・学習塾、保護者・教職員の研修会等で講演し、約7万人の児童生徒・保護者・教職員対象に講演を行っています。スクリーンとパソコンを駆使した講演は、「夢を掴むために大切なことをわかりやすく伝えてくれた」「(お母様方が)子育てに役立てたい」と、2022年も多数の講演会が開催予定です。

海岸に漂着した廃棄物に関する注意について

今年も、環境局産業廃棄物対策課より保護者への周知依頼がありました。夏休みも近づき、これから海水浴やマリレジャーなど子どもたちが海辺へ出かける機会が多くなる時期となります。

本市海岸では、昨年12月から今年4月までの間に、196個のポリタンクの漂着が確認され、ポリタンクの中には強酸性の液体が入っていたものも確認されています。

また、平成28年2月には北九州市で初めて信号弾の漂着が確認されました。信号弾は、不用意に取り扱くと爆発の恐れがあり、他県では誤って操作したことによる重傷事故が報告されています。子どもたち、保護者のみなさまをケガや事故から守るため、海岸で不審な漂着ゴミを発見した場合には、決して手を触れずに、北九州市環境局産業廃棄物対策課(電話:582-2177)まで連絡してください。

生徒のみなさんは自分で判断しないで保護者の方や大人に連絡してください。とても危険です!



注射器・薬びん



信号弾



漂着したポリタンク

進路講演会がありました！（2年生・3年生対象）

今年度も、敬愛小学校 龍 達也校長先生をお迎えして進路講演会を開催しました。(7月5日)講演の内容は「未来を変えるための3つの方法」です。龍先生は昨年度もおっしゃっていましたが、尾倉中の生徒の「聴く態度」が素晴らしいということです。「聞く」ではなく「聴く」姿勢が素晴らしいのです。富田先生の話にもあったように、「目」「耳」「心」で「聴く」ことができたことでしょう。

「未来を変えるための3つの方法」は「①変化に対応できる力～思考を変える～」 「②チャレンジ・継続することの大切さ」 「③感謝の気持ち」です。以下、龍先生の講演のキーワードを書きます。

7月2日はユネスコ加盟記念日です！